

CASBEE-建築(新築)2016年版
香村 武市 様 共同住宅新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点		重み係数		全体
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q1 建築物の環境品質								2.8
Q1-1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00			3.1
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50			
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63			
2 外皮性能		3.0	0.38	4.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.8	0.25	3.3	1.00			3.1
3.1 屋光利用		2.4	0.30	3.0	0.30			
1 屋光率		2.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30			
1 屋光制御		3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					2.7
1 機能性		2.4	0.40	2.6	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				2.6	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		2.0	0.30			2.5
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性						3.5
LR1 エネルギー			0.40			4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級④相当		4.0	0.20	4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.69		5.0	0.50	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
集合住宅の評価		3.0	1.00			
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源(マテリアル)			0.30			2.7
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1 節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60			2.7
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		二重天井を採用		4.0	0.20	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.7	0.20			2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		2.6	0.70			
1 消火剤		2.0	0.33			
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3 冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量が基準に対し約20%削減		4.6	0.33	4.6
2 地域環境への配慮		2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1 騒音		3.0	0.33			
2 振動		3.0	0.33			
3 悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制						
3 日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			